

施策評価シート

河辺雄和 商工会

平成30年度(2年目)

※施策評価判定基準:施策を構成する事業の評価結果に基づき、A(順調)、B(概ね順調)、C(一部未達成)の3段階で評価する。

施策1	個社支援強化のための支援体制づくり【重点推進施策】	総合評価	A
-----	---------------------------	------	---

事業1	巡回による「課題抽出調査」の実施	A
事業2	チーム支援の積極的活用	A

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
平成30年度で全会員の課題抽出調査は終了している。 支援員が簡易診断レポートを作成する際に、指導員がサポート役を担っているなど。	調査結果を支援に活かせるよう検討する。 具体的目標を設定し、チーム支援に取り組む。	調査結果を分析し、支援に活用する。 チーム支援の精度を高める。

施策2	地域の強みを最大限に活かしたビジネスチャンスの拡大【重点推進施策】	総合評価	C
-----	-----------------------------------	------	---

事業3	既存事業者と農業者の交流によるビジネスチャンス拡大	B
事業4	農商工連携、6次産業化、グリーンツーリズム施策の活用強化	C
事業5	事業者の誘致促進及び創業支援強化	C

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
事業者になりうる農業会員の増強に取り組んでいるが、ビジネスチャンスの拡大まで至っていない。 空き家を活用した芸術家の移住定住実績が無かった。	農業会員は増えているが、既存事業者との交流を行えるほどの会員に至っていない。 芸術家に紹介できる空き家物件を増やす必要がある。	農業会員20名を目標として取り組む。 空き家情報を収集できるよう各団体と連携を強化する。

施策7	広域連携による効率性の高い事業の構築【重点推進施策】	総合評価	A
-----	----------------------------	------	---

事業13	広域連携による効率性の高い事業の構築	A
事業14	講習会等の広域連携開催による事務効率化	A

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
近隣の商工会と連携し、事業を行いコスト削減等を進めている。	特に課題はない。	地区内の職員毎の会議等の中で連携できる事業を検討する。

施策8	商工会館の早期移転【重点推進施策】	総合評価	B
-----	-------------------	------	---

事業15	行政に対する要望と移転先の検討	B
事業16	地域振興専門委員会における費用引当てに係る協議	A

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
会館の補修により喫緊の移転は免れており、引当金も計画通り進んでいる。	10年以内に移転先を決める必要がある。 将来的には引当金の額が計画通りいかないことが考えられる。	秋田市へ遊休施設が活用できるよう要望する。 引当金の額について再考する必要がある。